

授業科目名	卒業研究(2100311)		
時間割名	卒業研究(55117)		
時間割担当	森一弘		
実施期	後期	単位数	4 選択
曜日・時限	金・5		

授業の目標・概要

卒業研究は、4年間の人間教育学の学修の集大成として行われるもので、いわゆる卒業論文や卒業制作、またはプロジェクトを個人もしくはグループで行うものである。テーマは、人間教育学に関わるテーマを広く設定することができる。また、様式も論文に限られず、制作物や、教育に関わるプロジェクトを企画し実施することも可能である。

学習の到達目標

適切な研究テーマを設定し、その課題解決のための研究方法や統計処理等について必要な知識や技能を獲得するとともに、その成果を論理的な文章にまとめることができるようになる。

授業方法・形式

- ・具体的なテーマに基づき、学生自身が考え、調べてまとめ、最終的に発表するまでを主体的に行う。
- ・毎回、担当教員の個別指導を受ける。
- ・途中で中間発表を行う。
- ・卒業論文完成後の発表会を行う。

授業計画

第1回～第12回 卒業論文の中間報告及び担当教員の指導
 第13回～第15回 卒業論文完成後の発表会にかかる準備及び担当教員の指導

当該科目開講前に構想発表会、開講途中で中間発表会を行う。また、卒業論文完成後の発表会も行う。詳細については、別途指示する。

成績評価の基準

研究意図、論述の根拠の妥当性や明確性、論文全体の仕上がりを総合的に評価する80%。毎回の授業における課題の提出状況10%、発表10%を加味して評価する。

- 秀：学修態度、課題の提出状況および発表に優れ、論文の形式に不備がなく研究目的に応じた内容、記述ともに優れていると認められる。
- 優：学修態度、課題の提出状況および発表が良好で、論文の形式に不備がなく研究目的に応じた内容、記述ともに良好と認められる。
- 良：学修態度、課題の提出状況および発表のいずれかが劣っているが、論文の形式は満たしており研究目的に応じた内容、記述ともに概ね満足と認められる。
- 可：消極的な学修態度、最低限の課題の提出状況および発表で、論文の形式、内容、記述のいずれかに若干の難点がある。
- 不可)問題のある学修態度、課題の未提出、発表の無断欠席で、課題がこなせていない。

準備学習・復習及び授

研究テーマに沿った先行研究や参考図書を集め、よく読む。年度当初に作成する「研究計画」に従って、授業ごとに必要な発表資料を作成すること。また、授業終了後には、指摘された事項等を踏まえ研究計画の検討および資料等の加除訂正を行うこと。

履修上のアドバイス及

各自の研究テーマに沿って、研究方法や統計処理等、大学生活で身に付けた知識や技能を傾注して、形式、内容ともに満足できる論文を書き上げて卒業を迎えてほしい。

教材・教科書

適時、指示する。

参考書

授業中に指示する